

## ■地域住民の参加



子供たちとの協働による  
キャンドルライトの設置と点



地域の幼稚園児と協力してあ  
かり結を制作した。月見光路当  
日は家族で参加し、自分が作っ  
たあかりに点灯する



あかりめぐりでは、来訪者が  
ゲームをして楽しみながらあ  
かりオブジェを見て回れるよ  
うになっている。



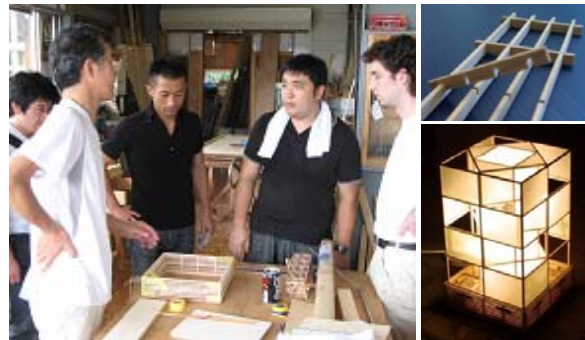
2007年から実施している「あ  
かりトーク」では、専門家による講  
演やディスカッションが実施され、  
あかりの価値や魅力が参加した  
市民や学生と共有された。



前田家ゆかりの松涛庵で開  
催されたお月見茶会。裏千家  
業株奈良宗久氏による薄茶  
席で気軽にお茶を楽しめる。



## ■伝統技術との融合



学生数名が地域の木工所へインターンシップをしながら木工技術  
を学びつつ、デザイン性と加工技術の兼ね合いや耐久性等につい  
て打ち合わせを繰り返した。繊細な木工技術により、幾何学的なあ  
かり路が実現した。

## ■ユニット化による可変性



光源が仕込まれている土台は細長、直方体、曲線の3タイプあり、  
直方体タイプは高さも3段階で構成されている。周辺環境や用途  
に合わせて配置や組み合わせを変え、様々なシーンを演出する  
ことができる。

NPO「趣都金沢」と金沢工業大学アルミハウス  
プロジェクトの連携による月見カフェ

## ■地域行事との連携



兼六園ライトアップ(主催:石川県)との連携



能登半島地震復興キャンペーン「光の回廊 in 総持寺」でのライトアップ協力



全日本花いっぱい金沢大会(主催:金沢市)  
におけるライトアップ協力



能登半島地震復興祈願「光の回廊 in 妙正寺」での  
ステージ演出・ライトアップ協力

## ■デザイナー＝学生

